OCMP

Open Computing environment for MIPS Platform

「OCMP規約」(オーシーエムピー)は、NECとソニーが開発した、日本語環境で使用できるワークステーション／サーバの標準プラットフォームを定義する規約です。この「OCMP規約」の普及のため、ハードウェアベンダーで構成する「OCMPグループ」を設立。参加各社はOCMP規約に準拠したプラットフォームを順次提供してまいります。このOCMP規約に基づくことでアプリケーションソフトウェアの開発がより容易になるだけでなく、全く同じアプリケーションがOCMPグループ各社のワークステーション／サーバでそのまま利用できるという理想的なユーザー環境を実現します。

OCMPグループ

オープンシステム構築

OCMPは、理想のUNIXプラットフォームです

オープンシステムの中核をなすUNIX。OCMPは、このUNIXを日本語環境において使いやすいものにし、さらに理想のものに前進させるための重要なオープンプラットフォーム規約です。
OCMPの目的は、日本語アプリケーションの共通利用環境の整備にあります。つまり、OCMPに対応した製品であれば、まったく同じ日本語アプリケーションが、各社のOCMP対応製品でそのまま利用できます。
日本でも本格的に普及しつつあるオープンシステム。OCMPを選ぶことは、日本のオープンシステムを選ぶことでもあります。



オー シー



OCMPは、最大のUNIXプラットフォームグループです

現在、OCMPを採用しているUNIXベンダーは9社。OCMPは、グループ各社から発売されているOCMP対応製品の間で、日本語アプリケーションがそのまま相互に利用できるバイナリレベルの互換環境を実現します。現在もそのためのアプリケーション環境の整備が活発に行われています。わたしたちは、UNIXによる快適なオープンシステムの世界をもっと多くのお客様にご利用いただけるように、多くのUNIXベンダーにOCMP採用の働きかけを行っています。93年5月に発表された、パソコン上のUNIX共通利用環境DICOP(ダイコップ)も、OCMPをベースに開発されており、OCMPとの間でソースコードレベルの互換が実現されます。

OCMPグループ

- 日本電気株式会社
- ソニー株式会社
- 三洋電機株式会社
- シーメンス ニックスドルフ インフォメーション システム株式会社
- 住友電気工業株式会社
- 日本シリコングラフィックス株式会社
- 日本ピラミッド株式会社
- 日本タンデムコンピューターズ株式会社
- コンカレント日本株式会社

OCMPのベー

RISCプロセッサとして高い評価をいただいているR4000、R4400などのMIPSプロセッサ、数あるUNIXの中でも、事実上のスタンダードUNIX「UNIX System Vリリース4(SVR4)」。OCMPは、これらの強力なオープンプラットフォームの上に作られています。従って、将来も安心してご利用いただけます。

のためのパスポート

エム ピー

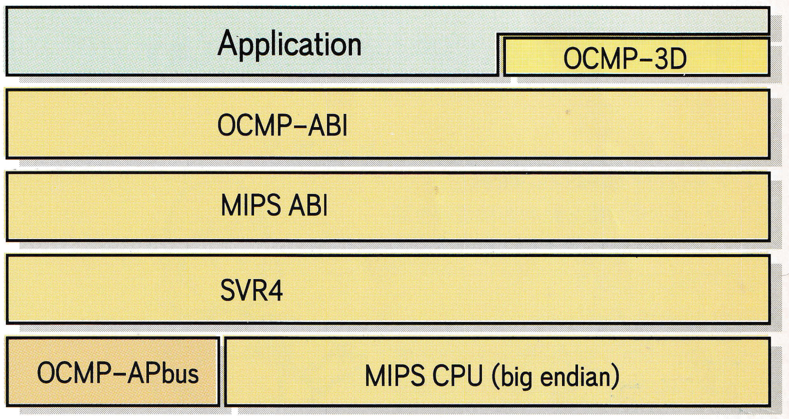
nment for MIPS Platform

OCMPは、3つの規約で構成されています

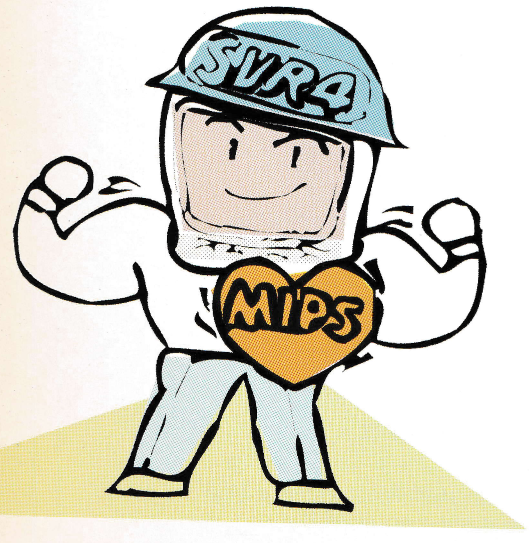
1) OCMP-ABI規約（日本語共通アプリケーションバイナリ規約）
本規約は、日本語アプリケーションの共通利用をめざすものです。
本規約に準拠することにより、バイナリレベルでの互換が実現します。
本規約は、UNIX System V リリース4(SVR4)、MIPS ABI、UIの日本語共通規約をベースに開発されています。

2) OCMP-3D規約（3次元グラフィックス規約）
本規約は、3次元グラフィックス機能の共通化を実現するものです。
シリコングラフィックス社の「OpenGL」をベースに開発されています。

3) OCMP-APbus規約（I/Oバス規約）
本規約は、I/Oバスのハードウェアと周辺機器制御用ソフト（デバイスドライバ）の共通化を実現するものです。ソニーの「APbus」をベースに開発されています。



スは、MIPSプロセッサとSVR4です



OCMP規約の特長

1) UNIX System V リリース4に準拠
2) MIPS ABI
3) X Window System Version 11 Release 5を採用
4) OSF/Motif 1.2を採用

OCMP

OCMP-ISVプログラム参加のご案内

OCMPは、ビジネスチャンスを大きく拡げます

現在、OCMP採用メーカは9社。OCMP対応をすれば、1社のUNIX製品でしか利用できなかったアプリケーションが、グループ各社から発売されているUNIX製品でそのまま利用できるようになります。したがってOCMP対応は、ポーティング、サポート作業の負担を大幅に軽減するとともに、ビジネスチャンスを飛躍的に拡大します。



いまがOCMPへの移行チャンスです

いち早くOCMPに対応することで、お客様に貴社のオープンシステムへの強い取り組み姿勢をアピールすることができます。現在、販売されているアプリケーションをOCMPにいますぐ移行されることをお奨め致します。



OCMP-ISVプログラムが、OCMPの世界にご案内します

1)テクニカル情報のご提供

OCMP-ABI規約書を始め各種情報を随時をご提供します。英文による紹介資料もご用意しています。

2)テクニカルサポート

アプリケーションをポーティングする際の技術的な問題に対し、テクニカルサポートを行います。

3)ポーティングセンターの利用

OCMP規約に基づいた製品のポーティング、および評価のために、各社のポーティングセンターが利用できます。



オープンシステム推進へOCMPが強力にサポートします

いろいろなメーカのUNIX製品上で、アプリケーションが相互に利用できる環境をめざすOCMPは、オープンシステムを前進させる原動力です。わたしたちは、国内ベンダーはもとより日本で活動する海外ベンダーにも、このOCMPの採用を働きかけ、もっと大きなマーケットを切り拓いていきます。どうぞ、OCMPの将来にご期待ください。
多くの方々のご参加を心よりお待ち申し上げています。



- ☐ 日本電気株式会社
- ☐ ソニー株式会社
- ☐ 三洋電機株式会社
- ☐ シーメンス ニックスドルフ インフォメーション システム株式会社
- ☐ 住友電気工業株式会社
- ☐ 日本シリコングラフィックス株式会社
- ☐ 日本ピラミッド株式会社
- ☐ 日本タンデムコンピューターズ株式会社
- ☐ コンカレント日本株式会社

お問い合わせ先

◆NEWSに関するお問い合わせは
ソニー株式会社
NEWSインフォメーションセンター
TEL 03 (3458) 7060 / 06 (534) 4588
東京都港区港南一丁目8-40